

クリーンセンター大崎維持管理記録書(平成31年4月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	636
		2号炉	4,444
		3号炉	4,434

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度※ ¹ (°C)	燃焼室 出口	1号炉	4月4日	923	800 以上
		2号炉	4月30日	947	
		3号炉	4月30日	952	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ ¹ (°C)	集じん器 入口	1号炉	4月4日	170	概ね 200 以下
		2号炉	4月30日	170	
		3号炉	4月30日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度※ ¹ (ppm)	集じん器 出口	1号炉	4月4日	13	100 以下
		2号炉	4月30日	7	
		3号炉	4月30日	10	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ ² の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類※ ³	1回/年	煙突 (サンプリング口)	1号炉 2号炉 3号炉	/	ng-TEQ/m ³ N ng-TEQ/m ³ N ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※⁴※⁵

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	m ³ N/h	— m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月				ppm	0.08 g/m ³ N	
塩化水素	1回/2月				g/m ³ N	200 mg/m ³ N	
窒素酸化物	1回/2月				mg/m ³ N	180 ppm	
全水銀	1回/4月				ppm	50 µg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	4月25日	5月27日	0.50 m ³ N/h	85.9 m ³ N/h
ばいじん	1回/2月					15 ppm	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					<0.00067 g/m ³ N	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					32 mg/m ³ N	180 ppm
全水銀	1回/4月					19 ppm	50 µg/m ³
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	3号炉	4月26日	5月27日	0.12 m ³ N/h	88.9 m ³ N/h
ばいじん	1回/2月					3.1 ppm	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					<0.00080 g/m ³ N	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					18 mg/m ³ N	180 ppm
全水銀	1回/4月					11 ppm	50 µg/m ³

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度(容積比)は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和1年5月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	1,267
		2号炉	4,608
		3号炉	4,603

データ 項目	測定位置		結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値
燃焼ガス温度※ ¹ (°C)	燃焼室 出口	1号炉	5月31日	926	800 以上
		2号炉	5月31日	957	
		3号炉	5月31日	943	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ ¹ (°C)	集じん器 入口	1号炉	5月31日	170	概ね 200 以下
		2号炉	5月31日	170	
		3号炉	5月31日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度※ ¹ (ppm)	集じん器 出口	1号炉	5月31日	12	100 以下
		2号炉	5月31日	7	
		3号炉	5月31日	12	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ ² の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類※ ³	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※⁴※⁵

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値			
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	m ³ N/h	— m ³ N/h			
ばいじん	1回/2月				g/m ³ N		0.08 g/m ³ N		
塩化水素	1回/2月				mg/m ³ N			200 mg/m ³ N	
窒素酸化物	1回/2月				ppm				180 ppm
全水銀	1回/4月				μg/m ³				
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	/	m ³ N/h	— m ³ N/h			
ばいじん	1回/2月				g/m ³ N		0.08 g/m ³ N		
塩化水素	1回/2月				mg/m ³ N			200 mg/m ³ N	
窒素酸化物	1回/2月				ppm				180 ppm
全水銀	1回/4月				μg/m ³				
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	/	m ³ N/h	— m ³ N/h			
ばいじん	1回/2月				g/m ³ N		0.08 g/m ³ N		
塩化水素	1回/2月				mg/m ³ N			200 mg/m ³ N	
窒素酸化物	1回/2月				ppm				180 ppm
全水銀	1回/4月				μg/m ³				

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和1年6月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	4,468
		2号炉	4,470
		3号炉	1,483

データ 項目	測定位置	結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値	
燃焼ガス温度※ ¹ (°C)	燃焼室 出口	1号炉	6月30日	925	800 以上
		2号炉	6月30日	951	
		3号炉	6月30日	937	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ ¹ (°C)	集じん器 入口	1号炉	6月30日	170	概ね 200 以下
		2号炉	6月30日	170	
		3号炉	6月30日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度※ ¹ (ppm)	集じん器 出口	1号炉	6月30日	11	100 以下
		2号炉	6月30日	7	
		3号炉	6月30日	11	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ ² の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類※ ³	1回/年	煙突 (チンブリング®口)	1号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※⁴※⁵

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値		
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (チンブリング®口)	1号炉	6月6日	6月27日	0.28 m ³ N/h	84.1 m ³ N/h	
	9.1 ppm							
ばいじん	1回/2月					<0.00068 g/m ³ N		0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					24 mg/m ³ N		200 mg/m ³ N
	14 ppm							
窒素酸化物	1回/2月	煙突 (チンブリング®口)	2号炉	6月13日	7月9日	67 ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月					4.1 µg/m ³	50 µg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月					0.23 m ³ N/h	83.4 m ³ N/h	
	7.7 ppm							
ばいじん	1回/2月					<0.00061 g/m ³ N	0.08 g/m ³ N	
塩化水素	1回/2月	煙突 (チンブリング®口)	3号炉	/	/	26 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N	
	43 ppm							
窒素酸化物	1回/2月					82 ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月					0.58 µg/m ³	50 µg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月					m ³ N/h	— m ³ N/h	
	ppm							
ばいじん	1回/2月	g/m ³ N	0.08 g/m ³ N					
塩化水素	1回/2月	mg/m ³ N	200 mg/m ³ N					
	ppm							
窒素酸化物	1回/2月	ppm	180 ppm					
全水銀	1回/4月	µg/m ³	50 µg/m ³					

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和1年7月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	4,623
		2号炉	2,586
		3号炉	1,272

データ 項目	測定位置		結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値
燃焼ガス温度※ ¹ (°C)	燃焼室 出口	1号炉	7月31日	925	800 以上
		2号炉	7月18日	917	
		3号炉	7月29日	820	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ ¹ (°C)	集じん器 入口	1号炉	7月31日	170	概ね 200 以下
		2号炉	7月18日	170	
		3号炉	7月29日	169	
排ガス中の一酸化炭素濃度※ ¹ (ppm)	集じん器 出口	1号炉	7月31日	11	100 以下
		2号炉	7月18日	6	
		3号炉	7月29日	9	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ ² の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類※ ³	1回/年	煙突 (サブリング*口)	1号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※⁴※⁵

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値		
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング*口)	1号炉	7月10日	7月30日	0.21 m ³ N/h	84.1 m ³ N/h	
	6.9 ppm							
ばいじん	1回/2月					<0.00073 g/m ³ N		0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					6.9 mg/m ³ N		200 mg/m ³ N
	4.2 ppm							
窒素酸化物	1回/2月					76 ppm		180 ppm
全水銀	1回/4月				12 µg/m ³	50 µg/m ³		
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング*口)	2号炉	/	/	m ³ N/h	— m ³ N/h	
	ppm							
ばいじん	1回/2月					g/m ³ N		0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					mg/m ³ N		200 mg/m ³ N
	ppm							
窒素酸化物	1回/2月					ppm		180 ppm
全水銀	1回/4月				µg/m ³	50 µg/m ³		
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング*口)	3号炉	/	/	m ³ N/h	— m ³ N/h	
	ppm							
ばいじん	1回/2月					g/m ³ N		0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					mg/m ³ N		200 mg/m ³ N
	ppm							
窒素酸化物	1回/2月					ppm		180 ppm
全水銀	1回/4月				µg/m ³	50 µg/m ³		

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和1年8月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	3,292
		2号炉	1,214
		3号炉	2,573

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度※ ¹ (°C)	燃焼室 出口	1号炉	8月22日	927	800 以上
		2号炉	8月31日	935	
		3号炉	8月31日	946	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ ¹ (°C)	集じん器 入口	1号炉	8月22日	195	概ね 200 以下
		2号炉	8月31日	193	
		3号炉	8月31日	192	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ※ ¹ (ppm)	集じん器 出口	1号炉	8月22日	9	100 以下
		2号炉	8月31日	6	
		3号炉	8月31日	8	

※¹ 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ ² の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※² 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類 ※ ³	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉 2号炉 3号炉	8月21日	9月30日	0.000012 ng-TEQ/m ³ N ng-TEQ/m ³ N ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N

※³ 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※⁴※⁵

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	8月6日	8月31日	0.37 m ³ N/h 11.0 ppm	86.2 m ³ N/h
ばいじん	1回/2月					<0.00067 g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					27 mg/m ³ N 16.0 ppm	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					63 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					18 µg/m ³	50 µg/m ³
硫黄酸化物	1回/2月					煙突 (サブリング口)	2号炉
ばいじん	1回/2月	g/m ³ N	0.08 g/m ³ N				
塩化水素	1回/2月	mg/m ³ N ppm	200 mg/m ³ N				
窒素酸化物	1回/2月	ppm	180 ppm				
全水銀	1回/4月	µg/m ³	50 µg/m ³				
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	8月6日	8月31日		
ばいじん	1回/2月					0.00078 g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					5.5 mg/m ³ N 9.1 ppm	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					68 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					5.4 µg/m ³	50 µg/m ³

※⁴ 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※⁵ 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和1年9月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	—
		2号炉	4,467
		3号炉	4,463

データ 項目	測定位置		結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値
燃焼ガス温度※ ¹ (°C)	燃焼室 出口	1号炉	休炉	—	800 以上
		2号炉	9月30日	937	
		3号炉	9月30日	959	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ ¹ (°C)	集じん器 入口	1号炉	休炉	—	概ね 200 以下
		2号炉	9月30日	170	
		3号炉	9月30日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度※ ¹ (ppm)	集じん器 出口	1号炉	休炉	—	100 以下
		2号炉	9月30日	6	
		3号炉	9月30日	8	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ ² の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	休炉
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	休炉
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類※ ³	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	8月29日	10月11日	ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	8月29日	10月11日	0.000000 ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	8月29日	10月11日	0.000009 ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※⁴※⁵

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	m ³ N/h	— m ³ N/h
ばいじん	1回/2月				ppm	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月				mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月				ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月				µg/m ³	50 µg/m ³
硫黄酸化物	1回/2月				煙突 (サブリング口)	2号炉
ばいじん	1回/2月	ppm	0.08 g/m ³ N			
塩化水素	1回/2月	mg/m ³ N	200 mg/m ³ N			
窒素酸化物	1回/2月	ppm	180 ppm			
全水銀	1回/4月	µg/m ³	50 µg/m ³			
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	9月5日		
ばいじん	1回/2月				5.7 ppm	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月				<0.00071 g/m ³ N	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月				10 mg/m ³ N	180 ppm
全水銀	1回/4月				6.7 ppm	50 µg/m ³
	1回/4月				75 ppm	50 µg/m ³

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和1年10月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	3,363
		2号炉	4,618
		3号炉	4,612

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度※ ¹ (°C)	燃焼室 出口	1号炉	10月31日	919	800 以上
		2号炉	10月31日	950	
		3号炉	10月31日	944	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ ¹ (°C)	集じん器 入口	1号炉	10月31日	170	概ね 200 以下
		2号炉	10月31日	170	
		3号炉	10月31日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ※ ¹ (ppm)	集じん器 出口	1号炉	10月31日	13	100 以下
		2号炉	10月31日	6	
		3号炉	10月31日	8	

※¹ 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備に たい積したばいじん※ ² の除 去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※² 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した 年月日	結果の得ら れた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類 ※ ³	1回/年	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	

※³ 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※⁴※⁵

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した 年月日	結果の得ら れた年月日	測定結果	法・条例規制値		
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	m ³ N/h	— m ³ N/h		
ばいじん	1回/2月				ppm			
塩化水素	1回/2月				g/m ³ N	0.08 g/m ³ N		
窒素酸化物	1回/2月				mg/m ³ N	200 mg/m ³ N		
全水銀	1回/4月				ppm	180 ppm		
全水銀	1回/4月			μg/m ³	50 μg/m ³			
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	10月11日	10月30日	0.33 m ³ N/h	85.9 m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月					10 ppm		
塩化水素	1回/2月					<0.00070 g/m ³ N		0.08 g/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					46 mg/m ³ N		200 mg/m ³ N
全水銀	1回/4月					28 ppm		
全水銀	1回/4月			76 ppm	180 ppm			
全水銀	1回/4月			1.00 μg/m ³	50 μg/m ³			
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	3号炉	10月18日	11月8日	0.25 m ³ N/h	85.2 m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月					7.4 ppm		
塩化水素	1回/2月					<0.00064 g/m ³ N		0.08 g/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					11 mg/m ³ N		200 mg/m ³ N
全水銀	1回/4月					19 ppm		
全水銀	1回/4月			70 ppm	180 ppm			
全水銀	1回/4月			0.5 μg/m ³	50 μg/m ³			

※⁴ 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※⁵ 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和1年11月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	4,464
		2号炉	4,471
		3号炉	—

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度※ ¹ (°C)	燃焼室 出口	1号炉	11月30日	938	800 以上
		2号炉	11月30日	959	
		3号炉	11月1日	—	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ ¹ (°C)	集じん器 入口	1号炉	11月30日	170	概ね 200 以下
		2号炉	11月30日	170	
		3号炉	11月1日	—	
排ガス中の一酸化炭素濃度※ ¹ (ppm)	集じん器 出口	1号炉	11月30日	10	100 以下
		2号炉	11月30日	7	
		3号炉	11月1日	—	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ ² の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類※ ³	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉 2号炉 3号炉		ng-TEQ/m ³ N ng-TEQ/m ³ N ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※⁴※⁵

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	11月20日	12月17日	0.28 m ³ N/h 8.8 ppm	83.6 m ³ N/h
ばいじん	1回/2月					<0.00076 g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					22 mg/m ³ N 13 ppm	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					75 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月						50 µg/m ³
硫黄酸化物	1回/2月					煙突 (サブリング口)	2号炉
ばいじん	1回/2月	g/m ³ N	0.08 g/m ³ N				
塩化水素	1回/2月	mg/m ³ N ppm	200 mg/m ³ N				
窒素酸化物	1回/2月	ppm	180 ppm				
全水銀	1回/4月	µg/m ³	50 µg/m ³				
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉				
ばいじん	1回/2月					g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					mg/m ³ N ppm	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					µg/m ³	50 µg/m ³

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和1年12月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	4,558
		2号炉	4,562
		3号炉	1,055

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度※ ¹ (°C)	燃焼室 出口	1号炉	12月31日	937	800 以上
		2号炉	12月31日	960	
		3号炉	12月31日	941	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ ¹ (°C)	集じん器 入口	1号炉	12月31日	170	概ね 200 以下
		2号炉	12月31日	170	
		3号炉	12月31日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ※ ¹ (ppm)	集じん器 出口	1号炉	12月31日	10	100 以下
		2号炉	12月31日	7	
		3号炉	12月31日	7	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ ² の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類 ※ ³	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※⁴※⁵

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値					
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	12月3日	12月27日	0.31 m ³ N/h	85.0 m ³ N/h				
ばいじん	1回/2月					<0.00019 g/m ³ N		0.08 g/m ³ N			
塩化水素	1回/2月					21 mg/m ³ N			200 mg/m ³ N		
窒素酸化物	1回/2月					13 ppm				180 ppm	
全水銀	1回/4月					74 ppm					50 µg/m ³
						2.5 µg/m ³					
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	12月3日	12月27日	0.08 m ³ N/h	85.0 m ³ N/h				
ばいじん	1回/2月					<0.00070 g/m ³ N		0.08 g/m ³ N			
塩化水素	1回/2月					9.6 mg/m ³ N			200 mg/m ³ N		
窒素酸化物	1回/2月					5.9 ppm				180 ppm	
全水銀	1回/4月					64 ppm					50 µg/m ³
						µg/m ³					
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	/	/	m ³ N/h	— m ³ N/h				
ばいじん	1回/2月					g/m ³ N		0.08 g/m ³ N			
塩化水素	1回/2月					mg/m ³ N			200 mg/m ³ N		
窒素酸化物	1回/2月					ppm				180 ppm	
全水銀	1回/4月					ppm					50 µg/m ³
						µg/m ³					

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和2年1月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	2,889
		2号炉	1,381
		3号炉	2,847

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度※ ¹ (°C)	燃焼室 出口	1号炉	1月31日	935	800 以上
		2号炉	1月9日	967	
		3号炉	1月31日	935	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ ¹ (°C)	集じん器 入口	1号炉	1月31日	170	概ね 200 以下
		2号炉	1月9日	170	
		3号炉	1月31日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度※ ¹ (ppm)	集じん器 出口	1号炉	1月31日	11	100 以下
		2号炉	1月9日	7	
		3号炉	1月31日	11	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ ² の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類※ ³	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉 2号炉 3号炉		ng-TEQ/m ³ N ng-TEQ/m ³ N ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※⁴※⁵

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉		m ³ N/h	— m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月				ppm	g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月				mg/m ³ N	200 mg/m ³ N	
窒素酸化物	1回/2月				ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月				µg/m ³	50 µg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月				m ³ N/h	— m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉		ppm	0.08 g/m ³ N	
塩化水素	1回/2月				g/m ³ N	200 mg/m ³ N	
窒素酸化物	1回/2月				mg/m ³ N	200 mg/m ³ N	
全水銀	1回/4月				ppm	180 ppm	
硫黄酸化物	1回/2月				µg/m ³	50 µg/m ³	
ばいじん	1回/2月				0.35 m ³ N/h	83.4 m ³ N/h	
塩化水素	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	1月7日	11 ppm	0.08 g/m ³ N	
窒素酸化物	1回/2月				<0.00072 g/m ³ N	200 mg/m ³ N	
全水銀	1回/4月				19 mg/m ³ N	180 ppm	
硫黄酸化物	1回/2月				11 ppm	180 ppm	
窒素酸化物	1回/2月				70 ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月				0.37 µg/m ³	50 µg/m ³	

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和2年2月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	4,314
		2号炉	—
		3号炉	4,294

データ 項目	測定位置		結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値
燃焼ガス温度※ ¹ (°C)	燃焼室 出口	1号炉	2月29日	927	800 以上
		2号炉	休炉	—	
		3号炉	2月29日	947	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ ¹ (°C)	集じん器 入口	1号炉	2月29日	170	概ね 200 以下
		2号炉	休炉	—	
		3号炉	2月29日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度※ ¹ (ppm)	集じん器 出口	1号炉	2月29日	10	100 以下
		2号炉	休炉	—	
		3号炉	2月29日	9	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ ² の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	休炉
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	休炉
3号炉		稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類※ ³	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※⁴※⁵

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	2月4日	2月27日	0.29 m ³ N/h	84.5 m ³ N/h
	9,1 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.00057 g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					27 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					16 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					82 ppm	50 μg/m ³
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	/	/	m ³ N/h	— m ³ N/h
	ppm						
ばいじん	1回/2月					g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					μg/m ³	50 μg/m ³
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	/	/	m ³ N/h	— m ³ N/h
	ppm						
ばいじん	1回/2月					g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					μg/m ³	50 μg/m ³

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和2年3月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	4,457
		2号炉	2,605
		3号炉	4,446

項目	データ	測定位置	結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値	
燃焼ガス温度※ ¹ (°C)		燃焼室 出口	1号炉	3月31日	926	800 以上
			2号炉	3月31日	947	
			3号炉	3月31日	950	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ ¹ (°C)		集じん器 入口	1号炉	3月31日	170	概ね 200 以下
			2号炉	3月31日	170	
			3号炉	3月31日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度※ ¹ (ppm)		集じん器 出口	1号炉	3月31日	10	100 以下
			2号炉	3月31日	19	
			3号炉	3月31日	8	

※¹ 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ ² の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※² 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

項目	データ	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類※ ³		1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉		ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
				2号炉		ng-TEQ/m ³ N	
				3号炉		ng-TEQ/m ³ N	

※³ 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※⁴※⁵

項目	データ	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値			
硫黄酸化物		1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	3月3日	3月24日	0.3 m ³ N/h	85.9 m ³ N/h		
		8.8 ppm								
ばいじん		1回/2月					<0.00069 g/m ³ N		0.08 g/m ³ N	
塩化水素		1回/2月					33 mg/m ³ N			200 mg/m ³ N
		20 ppm								
窒素酸化物		1回/2月					83 ppm			
全水銀		1回/4月	μg/m ³	50 μg/m ³						
硫黄酸化物		1回/2月	0.53 m ³ N/h		85.2 m ³ N/h					
		16 ppm								
ばいじん		1回/2月	<0.00068 g/m ³ N			0.08 g/m ³ N				
塩化水素		1回/2月	28 mg/m ³ N				200 mg/m ³ N			
		17 ppm								
窒素酸化物		1回/2月	69 ppm	180 ppm						
全水銀		1回/4月	1.90 μg/m ³		50 μg/m ³					
硫黄酸化物		1回/2月	0.35 m ³ N/h					86.6 m ³ N/h		
		10 ppm								
ばいじん		1回/2月	<0.00063 g/m ³ N			0.08 g/m ³ N				
塩化水素		1回/2月	17 mg/m ³ N				200 mg/m ³ N			
		10 ppm								
窒素酸化物		1回/2月	70 ppm	180 ppm						
全水銀		1回/4月	μg/m ³		50 μg/m ³					

※⁴ 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※⁵ 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。